



▲“すもっち”（上）と“すもりん”（右）

## 栖本かっぱ王国の“すもっち”と“すもりん”をよろしくね！

栖本まちづくり協議会の愛称とイメージキャラクターが決まる

栖本まちづくり協議会ではこのほど、同協議会の愛称を“栖本かっぱ王国”に決定し、イメージキャラクターとしてかっぱをモチーフにした“すもっち”と“すもりん”を制作しました。これは、同協議会を身近でより親しみのあるものにしようと企画したものです。

キャラクターのデザインは、同町出身でテレビアニメの作画などを多数手がけている武内啓さん（東京都）が担当。また、同協議会の愛称とキャラクターの名称は、公募により選ばれました。今後このキャラクターは、同協議会のPRに活用されます。

## 地域福祉の活動拠点として

「くすぶふれあい館」がオープン

3月10日、有明町の旧楠甫保育所を改修して「くすぶふれあい館」がオープンしました。これは楠甫地区振興会が、学童保育や高齢者サロンなど地域福祉の活動拠点として整備したものです。この日は開所式が行われ、関係者など約100人が参加。

同地区振興会の堀浩一郎会長が「幅広い年齢層が参加できる交流の場となってほしい」とあいさつした後、看板の除幕やもち投げのほか、ぜんざいなどがふるまわれ、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



▲看板を除幕するようす



▲西の久保公園にあるチェックポイントでスタンプをもらう参加者

## 市街地のウォーキングを満喫！

天草桜まつり街中ウォーキング

本渡地区の市街地を巡る「第1回天草桜まつり街中ウォーキング」が4月7日、本渡中央銀天街・スマイルパークをスタート・ゴールとする約8kmのコースで行われ、89人が参加しました。この日は天気にも恵まれ、参加者は天草キリシタン館や西の久保公園など、コース上に設けられたチェックポイントを目ざしながら思い通りのペースでウォーキングを満喫。また、ゴール後はぜんざいがふるまわれたほか、景品が当たる抽選会も行われ、にぎわいを見せていました。

## オリーブオイル料理満載の1冊

うまか天草んオリーブ料理レシピ集を発行

このほど、五和まちづくり協議会が「うまか天草んオリーブ料理レシピ集」を発行しました。これは、天草の新しい特産品として期待されているオリーブオイルを、市民が身近に使える調味料として実感してもらおうと企画したものです。

内容は、これまで3回開かれたオリーブ料理コンテストで集まった68品をはじめ、オリーブオイルソムリエの小暮剛氏によるオリーブ料理の作り方を収録。また、町内の小学校で行われたオリーブの食育授業などのようすも掲載されています。購入方法などの詳細は、同協議会事務局（五和支所・まちづくり推進課内）☎⑩1111へ。



▲できあがったレシピ集

## 地元に残る歌を後世へ

“魚貫草刈り唄”発祥の記念碑を建立

魚貫町魚貫崎地区の海岸に3月17日、地元に残る民謡“魚貫草刈り唄”発祥の記念碑が建立されました。

これは、地元住民らがこの歌を後世に歌い継いでいこうと建てたもの。“魚貫草刈り唄”とは、江戸時代の後期に同地区の女性たちが、ボラ漁のために滞在していた長崎の漁師が漁期を終えて地元へ戻るときに、海を見渡せる山で草を刈りながら歌い始めたといわれている、恋の歌です。この日は、関係者など約50人が出席して除幕式を実施。高さ5.5メートル、台座には歌詞が刻まれた記念碑が披露されました。



▲建立された記念碑

## 今年も豊作を！

早期米（コシヒカリ）の田植えが始まる

4月8日、新和町内で早期米（コシヒカリ）の田植えが行われました。小宮地地区に約30アールの田んぼを所有する原田敏明さんは、この日15アールの田んぼで田植えを実施。原田さんは、田植え機とともにきれいに整地された水田に入り、ていねいに苗の植え付け作業を行っていました。

JAあまくさによると、同町では今年約190ヘクタールに早期米が作付けされ、8月初旬から収穫が始まるということです。



▲田植えを行う原田さん